

### Ⅲ 6 容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

#### (1) 平成 29 年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

容器包装廃棄物の減量化やリサイクルを推進するため、平成 7 年 6 月に成立した「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」（容器包装リサイクル法）が成立し、市町村等では「市町村分別収集計画」を策定し、平成 9 年度から計画的な分別収集が行われている。県では、これら市町村等の分別収集計画を取りまとめた「千葉県分別収集促進計画」を策定し、容器包装廃棄物の分別収集状況等を把握している。

平成 29 年度における実施状況を見ると、前年度と比較して全品目について、概ね横ばいで推移している。

プラスチック製容器包装については、33 市町村の実施、また、紙製容器包装については、16 市町村の実施にとどまり、この 2 品目の分別収集があまり進んでいない状況にある。

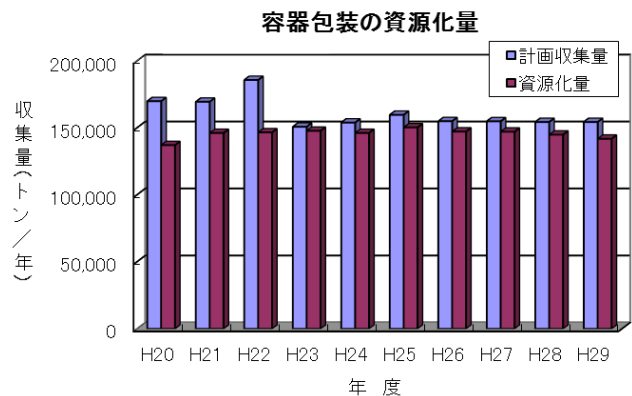
平成 29 年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績※

品目		計画量 (t) (A)	収集量 (t) (B)	収集率 (%) (B/A)	再商品化 量 (t) (C)	再商品化 率 (%) (C/B)	計画 市町村数	実施 市町村数	
								(合併後の数)	
ガラスびん	無色	17,404	15,925	91.5	15,776	99.1	53	53	
	茶色	12,242	10,899	89.0	10,780	98.7	53	53	
	その他	11,975	11,029	92.1	10,916	99.0	54	54	
ペットボトル		16,048	16,618	103.6	15,809	95.1	54	54	
紙製容器包装		2,109	606	28.7	488	80.5	21	16	
プラスチック製容器包装 (白色トレイ含む)		28,758	30,488	106.0	26,727	87.7	38	33	
缶	鋼製	9,587	8,385	87.5	8,314	99.2	54	53	
	アルミニウム製	9,707	9,290	95.7	9,251	99.6	54	53	
飲料用紙製容器		701	491	70.0	484	98.6	49	50	
ダンボール		45,828	43,377	94.7	43,305	99.8	54	54	
全品目		154,358	147,107	95.3	141,850	96.4			

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2) 計画収集量及び再商品化量の経年変化

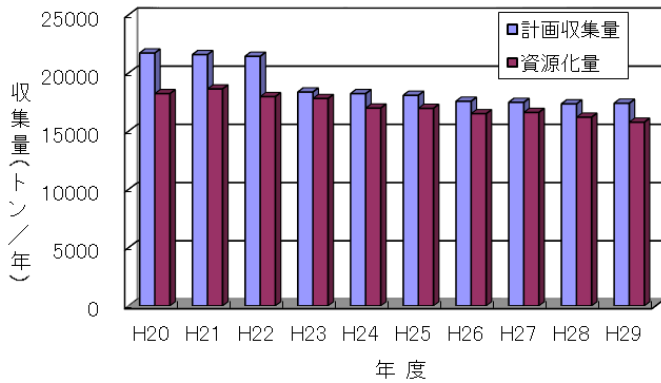
容器包装リサイクル法の分別収集対象品目は、平成 9 年度に分別収集が開始された時点では、無色ガラスびん、茶色ガラスびん、その他のガラスびん、ペットボトル、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装、飲料用紙製容器包装の 7 品目であったが、平成 12 年度からは紙製容器包装、プラスチック製容器包装、段ボールの 3 品目が追加され、現在に至っている。



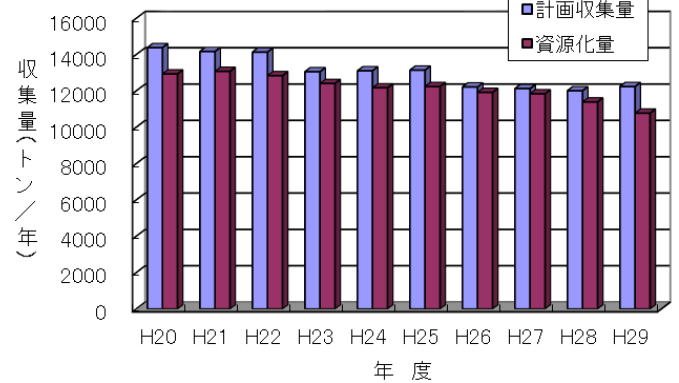
この品目追加により、再商品化された容器包装廃棄物総量は、平成9年度の約9万トンから平成12年度に12万トン、平成29年度には約14万トンと増加した。

また、品目別の再商品化（資源化）量状況を見ると、飲料用として広く利用されていた鋼製容器（スチール缶）が減少する一方、他の品目については概ね横ばいである。

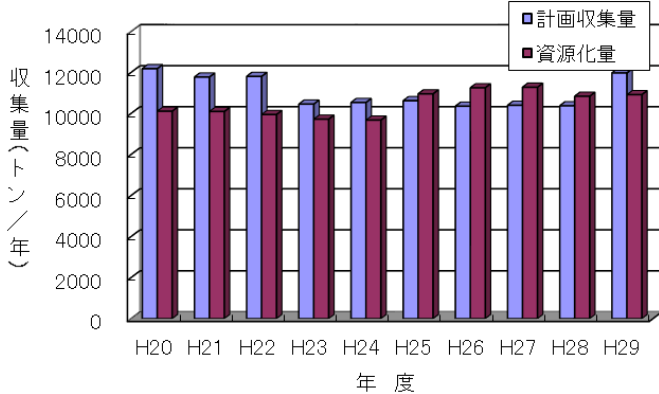
(1)無色ガラスびん



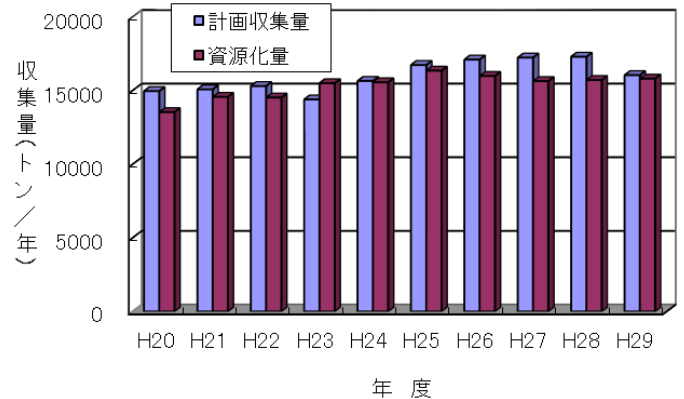
(2)茶色ガラスびん



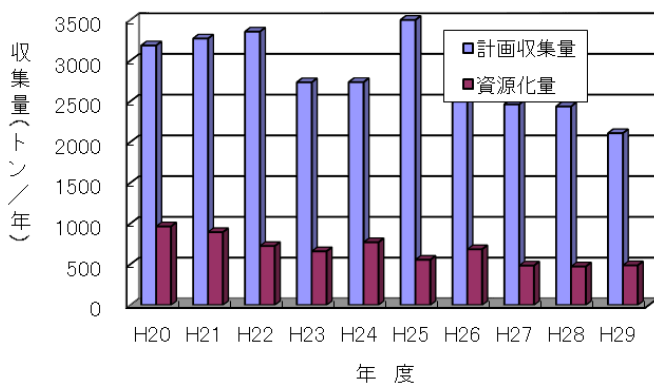
(3)その他のガラスびん



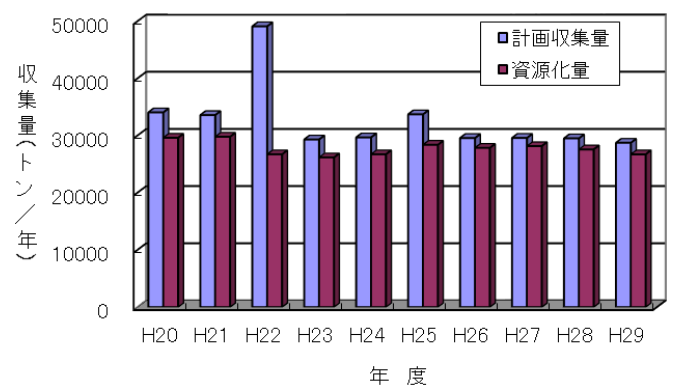
(4)ペットボトル



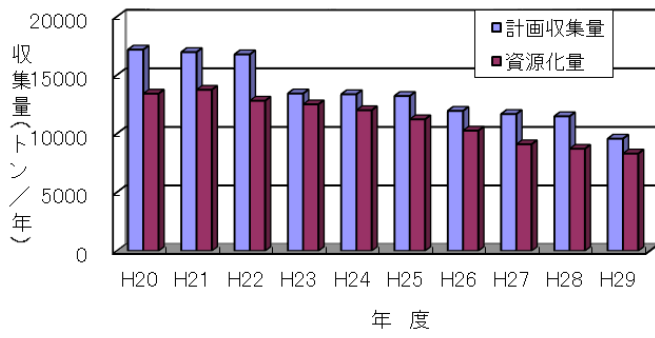
(5)紙製容器包装



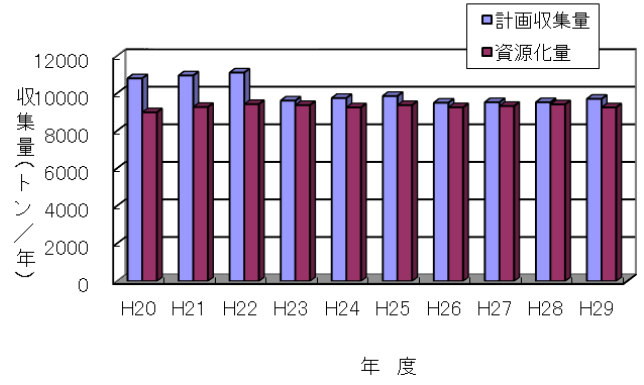
(6)プラスチック製容器包装



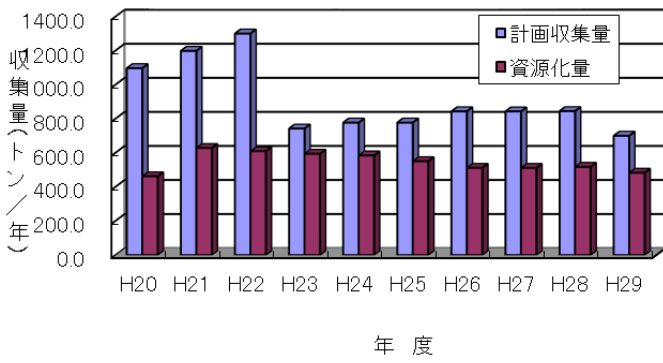
(7)鋼製容器包装



(8)アルミニウム製容器包装



(9)飲料用紙製容器包装



(10)段ボール

